

Ver.21H2 : Windows 10 November 2021 Update  
 Ver.21H1 : Windows 10 May 2021 Update  
 Ver.20H2 : Windows 10 October 2020 Update  
 Ver.2004 : Windows 10 May 2020 Update  
 Ver.1909 : Windows 10 November 2019 Update  
 Ver.1903 : Windows 10 May 2019 Update

- : 対応済み
  - △ :一部制限が動作可能
  - × : 動作検証中または 未対応
  - : 非対応
- ・未定部分は、決定次第が追加されます。  
 ・動作検証中の方は、検証完了次第で更新されます。  
 ・注意事項は対応しない場合があります。

製品名	実行バージョン	Windows 10	Windows 10	Windows 10	Windows 11	Windows Server 2022	対応予定バージョン	対応時期・備考
		~Ver.20H2 対応状況	Ver.21H1 対応状況	Ver.21H2 対応状況	対応状況	対応状況		
QND Premium	Ver.11.0.7i	△	△	△	△	△	未定	■Windows 10 Ver.1903以降 [制限事項] ・ 外部メディア接続機能が有効の場合、Windows Sandboxは起動しません ・ アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません ・ Windows 10 v2004以降では、グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10/11 の更新制御」による設定の変更ができません [注意事項] ・ Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・ Windows Subsystem for Linux 1のファイルシステムに対する配布はできません。(Ver.21H2では配布が行えます) ・ Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted) の設定が廃止されたため、ソリューション利用時に次の注意事項があります 「プランチ準備レベル: SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます ■Windows 11 [制限事項] ・ カスタムイベント「HDD 健全性チェック」が取得されません。 ・ アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません ・ グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10/11 の更新制御」による設定の変更ができません ・ 事前性対応機能には、対応していません。 [注意事項] ・ Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・ Windows Subsystem for Linux 1のファイルシステムに対する配布はできません ・ Windows 10/11の更新制御利用時に「プランチ準備レベル: SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます ■Windows Server 2022 [注意事項] ・ Windows Subsystem for Linux 1のファイルシステムに対する配布はできません ■Windows 10 Ver.21H2 [制限事項] ・ Windows 10更新モデル「General Availability Channel」が「SAC」と取得される
SPM	Ver.3.9.2i	○	○	○	○	○	未定	■Windows 10 Ver.1903以降 / Windows 11 / Windows Server 2022 [注意事項] ・ Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・ コンバート実行中にリアルタイムPCを利用したポリシー条件の更新スケジュールを実行するとSPMコンソールがフリーズすることがあります 現象発生時はタスクマネージャーからSPMコンソールを終了し再度コンソールを起動するようお願いいたします ・ 「ハイコントラスト」を設定すると、SPMコンソールでグレーアウトとなっている表記が見えなくなる場合があります
QPM	Ver.1.2i SP14	○	○	○	○	○	未定	■Windows 10 Ver.1903以降 / Windows Server 2022 / Windows 11 [注意事項] ・ Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です
URL Filtering	Ver.5.2.2	○	○	○	○	×	未定	■Windows 10 Ver.1903以降 / Windows 11 [注意事項] ・ Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・ Windows Sandbox内のブラウザおよびアプリの通信は制御されません ■Windows Server 2022 検証期間調整中
QND ClientLog	Ver.2.6.11.2i (*1)(*2)	○	○	△	△	△	未定	■Windows 10 Ver.1903以降 [注意事項] ・ Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です *1 Ver.2.6.10でも同様 *2 QCL Ver.2.6.9では以下の事象が発生します ・ 260文字以上のフォルダパス上でファイル操作をすると、QCLクライアントが異常終了する ■Windows 11 [制限事項] ・ Power Automate Desktopでファイル操作時に、操作ログが取得できないことがある ・ Power Automate Desktopの「ドキュメント印刷」でファイル印刷する場合、プリンターログが取得されない ・ Windows11の新機能であるスナップ レイアウト機能とスナップ グループ機能が、QCLコンソールでは使用できない ・ Windows11の新機能であるコントラストテーマを利用している場合、QCLコンソールのスナップショットビューアでスナップショットが表示されない ・ QCLクライアントのアンインストールした場合、イベントログにエラーが記録されることがある ■Windows Server 2022 [制限事項] ・ クラウド自動バージョンアップ機能にて、Windows Server 2022 が Windows Server 2019として認識される ■Windows 10 Ver.21H2 ・ QCLクライアントのアンインストールした場合、イベントログにエラーが記録されることがある
QND Standard	Ver.11.0.7i	△	△	△	△	△	未定	■Windows 10 Ver.1903以降 [制限事項] ・ アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません ・ Windows 10 v2004以降では、グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10/11 の更新制御」による設定の変更ができません [注意事項] ・ Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・ Windows Subsystem for Linux 1のファイルシステムに対する配布はできません。(Ver.21H2では配布が行えます) ・ Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted) の設定が廃止されたため、ソリューション利用時に次の注意事項があります 「プランチ準備レベル: SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます ■Windows 11 [制限事項] ・ カスタムイベント「HDD 健全性チェック」が取得されません。 ・ アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません ・ グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10/11 の更新制御」による設定の変更ができません [注意事項] ・ Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・ Windows Subsystem for Linux 1のファイルシステムに対する配布はできません ・ Windows 10/11の更新制御利用時に「プランチ準備レベル: SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます ■Windows Server 2022 [注意事項] ・ Windows Subsystem for Linux 1のファイルシステムに対する配布はできません ■Windows 10 Ver.21H2 [制限事項] ・ Windows 10更新モデル「General Availability Channel」が「SAC」と取得される
SPM	Ver.3.9.2i	○	○	○	○	○	未定	■Windows 10 Ver.1903以降 / Windows 11 / Windows Server 2022 [注意事項] ・ Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・ コンバート実行中にリアルタイムPCを利用したポリシー条件の更新スケジュールを実行するとSPMコンソールがフリーズすることがあります 現象発生時はタスクマネージャーからSPMコンソールを終了し再度コンソールを起動するようお願いいたします ・ 「ハイコントラスト」を設定すると、SPMコンソールでグレーアウトとなっている表記が見えなくなる場合があります
QPM	Ver.1.2i SP14	○	○	○	○	○	未定	■Windows 10 Ver.1903以降 / Windows Server 2022 / Windows 11 [注意事項] ・ Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です

製品名	実行バージョン	Windows 10 ~Ver.20H2	Windows 10 Ver.21H1	Windows 10 Ver.21H2	Windows 11	Windows Server 2022	対応予定バージョン	対応時期 / 備考
		対応状況	対応状況	対応状況	対応状況	対応状況		
QND Advance	Ver.11.0.7i	△	△	△	△	△	未定	<ul style="list-style-type: none"> <li>■Windows 10 Ver.1903以降</li> <li>[制限事項] <ul style="list-style-type: none"> <li>- 外部メディア制御機能が有効の場合、Windows Sandboxは起動しません</li> <li>- アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません</li> <li>- Windows 10 v2004以降では、グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10/11 の更新制御」による設定の変更ができません</li> </ul> </li> <li>[注意事項] <ul style="list-style-type: none"> <li>- Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です</li> <li>- Windows Subsystem for Linux 1のファイルシステムに対する配布はできません (Ver.21H2では配布が行えます)</li> <li>- Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted) の設定が廃止されたため、ソリューション利用時に次の注意事項があります 「プラン予備レベル: SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。イベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます</li> </ul> </li> <li>■Windows 11</li> <li>[制限事項] <ul style="list-style-type: none"> <li>- カスタムインベントリ「HDD 健全性チェック」が取得されません</li> <li>- アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません</li> <li>- グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10/11 の更新制御」による設定の変更ができません</li> </ul> </li> <li>[注意事項] <ul style="list-style-type: none"> <li>- 簡易性対応機能には、対応していません</li> <li>- Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です</li> <li>- Windows Subsystem for Linux 1のファイルシステムに対する配布はできません</li> <li>- Windows 10/11の更新制御利用時に「プラン予備レベル: SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。イベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます</li> </ul> </li> <li>■Windows Server 2022</li> <li>[注意事項] <ul style="list-style-type: none"> <li>- Windows Subsystem for Linux 1のファイルシステムに対する配布はできません</li> </ul> </li> <li>■Windows 10 Ver.21H2</li> <li>[制限事項] <ul style="list-style-type: none"> <li>- Windows 10更新モデル「General Availability Channel」が「SAC」と取得される</li> </ul> </li> </ul>
SPM	Ver.3.9.2i	○	○	○	○	○	未定	<ul style="list-style-type: none"> <li>■Windows 10 Ver.1903以降 / Windows 11 / Windows Server 2022</li> <li>[注意事項] <ul style="list-style-type: none"> <li>- Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です</li> <li>- コントロール実行時にリソースPCを利用したリソース側の最新スケジュールを実行するとSPMコントロールがフリーズすることがあります 場合発生時はタスクマネージャーからSPMコントロールを終了し再度コントロールを起動するようにお願いします</li> <li>- 「ハイコントラスト」を設定すると、SPMコントロールでグレースケールとなっている表記が見えなくなる場合があります</li> </ul> </li> </ul>
QPM	Ver.1.2i SP14	○	○	○	○	○	未定	<ul style="list-style-type: none"> <li>■Windows 10 Ver.1903以降 / Windows Server 2022 / Windows 11</li> <li>[注意事項] <ul style="list-style-type: none"> <li>- Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です</li> </ul> </li> </ul>
License Guard	Ver.5.2	○	○	○	○	○		
URL Filtering	Ver.5.2.2	○	○	○	○	x	未定	<ul style="list-style-type: none"> <li>■Windows 10 Ver.1903以降 / Windows 11</li> <li>[制限事項] <ul style="list-style-type: none"> <li>- Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です</li> <li>- Windows Sandbox内のブラウザおよびアプリの通信は制御されません</li> </ul> </li> <li>■Windows Server 2022</li> <li>検証期間調整中</li> </ul>
QND ClientLog	Ver.2.6.11.2i (*1)(*2)	○	○	△	△	△	未定	<ul style="list-style-type: none"> <li>■Windows 10 Ver.1903以降</li> <li>[注意事項] <ul style="list-style-type: none"> <li>- Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です</li> <li>*1 Ver.2.6.10でも同様</li> <li>*2 QCL Ver.2.6.9では以下の事象が発生します - 260文字以上のフォルダパス上でファイル操作をすると、QCLクライアントが異常終了する</li> </ul> </li> <li>■Windows 11</li> <li>[制限事項] <ul style="list-style-type: none"> <li>- Power Automate Desktopでファイル操作時に、操作ログが取得できないことがある</li> <li>- Power Automate Desktopの「ドキュメント印刷」でファイル印刷する場合、プリンターログが取得されない</li> <li>- Windows11の新機能であるスナップ レイアウト機能とスナップ グループ機能が、QCLコントロールでは使用できない</li> <li>- Windows11の新機能であるコントラストテーマを利用している場合、QCLコントロールのスナップショットビューアでスナップショットが表示されない</li> <li>- QCLクライアントのアンインストールした場合、イベントログにエラーが記録されることがある</li> </ul> </li> <li>■Windows Server 2022</li> <li>[制限事項] <ul style="list-style-type: none"> <li>- クライアント自動バージョンアップ機能にて、Windows Server 2022 が Windows Server 2019として認識される</li> </ul> </li> <li>■Windows 10 Ver.21H2</li> <li>- QCLクライアントのアンインストールした場合、イベントログにエラーが記録されることがある</li> </ul>
QND ClientLog	Ver.2.6.11.2i (*1)(*2)	○	○	△	△	△	未定	<ul style="list-style-type: none"> <li>■Windows 10 Ver.1903以降</li> <li>[注意事項] <ul style="list-style-type: none"> <li>- Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です</li> <li>*1 Ver.2.6.10でも同様</li> <li>*2 QCL Ver.2.6.9では以下の事象が発生します - 260文字以上のフォルダパス上でファイル操作をすると、QCLクライアントが異常終了する</li> </ul> </li> <li>■Windows 11</li> <li>[制限事項] <ul style="list-style-type: none"> <li>- Power Automate Desktopでファイル操作時に、操作ログが取得できないことがある</li> <li>- Power Automate Desktopの「ドキュメント印刷」でファイル印刷する場合、プリンターログが取得されない</li> <li>- Windows11の新機能であるスナップ レイアウト機能とスナップ グループ機能が、QCLコントロールでは使用できない</li> <li>- Windows11の新機能であるコントラストテーマを利用している場合、QCLコントロールのスナップショットビューアでスナップショットが表示されない</li> <li>- QCLクライアントのアンインストールした場合、イベントログにエラーが記録されることがある</li> </ul> </li> <li>■Windows Server 2022</li> <li>[制限事項] <ul style="list-style-type: none"> <li>- クライアント自動バージョンアップ機能にて、Windows Server 2022 が Windows Server 2019として認識される</li> </ul> </li> <li>■Windows 10 Ver.21H2</li> <li>- QCLクライアントのアンインストールした場合、イベントログにエラーが記録されることがある</li> </ul>

製品名	実行バージョン	Windows 10	Windows 10	Windows 10	Windows 11	Windows Server 2022	対応予定バージョン	対応時期・備考	
		～Ver.20H2 対応状況	Ver.21H1 対応状況	Ver.21H2 対応状況	対応状況	対応状況			
ISM CloudOne	Ver.7.11	○	○	○	○	○		<p>■Windows 10 Ver.1903以降</p> <p>[制限事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 10 v2004以降の場合、ハードウェアインベントリの「Windows Update情報」にある「更新方法」が空欄になる場合があります ※グループポリシー「コンピューターの構成」-「管理用テンプレート」-「Windowsコンポーネント」-「Windows Update」で、「自動更新を構成する」を「有効」にし、「7-自動ダウンロード、インストール時に通知、再起動を通知」を選択している場合に本手帳を無効 </li></ul> <p>[注意事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です</li> <li>Windows Subsystem for Linuxのファイルシステムに対する配布はできません</li> <li>Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted) の設定が廃止されたため、Windows 10 Update設定利用時に次の注意事項があります a. Windows 10 Update設定で、「更新モデルを指定する: SACT」を選択してもクライアントに反映されません b. ハードウェアインベントリの「Windows 10 更新モデル」が常に「SAC」になります</li> </ul> <p>■Windows 10 Ver.21H2以降</p> <p>[制限事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 10更新モデル「General Availability Channel」が「SAC」と取得される</li> </ul>	
	外部メディア制御 (オプション)	Ver.7.11	○	○	○	○	-		<p>■Ver.1903以降</p> <p>[注意事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部メディア制御機能が有効の場合、Windows Sandboxは起動しません</li> </ul>
	操作ログ (オプション)	Ver.7.11	○	○	○	○	○		
	ふるまい検知 (オプション)	Ver.3.4.6	○	○	○	○	○		
	ディスク暗号化 (オプション)	82.10.9575	○	x	x	x	-	未定	
	URL Filtering (オプション)	Ver.5.2.2	○	○	○	○	-	未定	<p>■Windows 10 Ver.1903以降 / Windows 11</p> <p>[制限事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です</li> <li>Windows Sandbox内のブラウザおよびアプリの通信は制御されません</li> </ul>
Windows10/11アップデート支援 (オプション)	Ver.7.11	○	○	○	○	-			
KeyServer	Ver.7.6	○	△	△	△	△	未定	<p>■Windows 10 Ver.1903以降 / Windows 11 / Windows Server 2022</p> <p>[制限事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 10 20H2以降のOSバージョンは「2009」と表示されます</li> <li>Windows Server 2022は「OS種類」に「Microsoft Windows(64Bit)」と表示されます</li> </ul> <p>[注意事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です</li> <li>「コントラストテーマ」を使用した場合、UIの表示が異常に見づらくなる場合があります</li> </ul>	
eX WP	Ver.4.4i SP5	△	△	△	△	△※		<p>■Ver.1903/1909/2004</p> <p>[制限事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>RP1モード、またはRP2モードの場合、Windows Sandboxは起動しません</li> </ul> <p>■Ver.20H2/21H1/21H2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 10 20H2/21H1へのバージョンアップに失敗する場合があります</li> </ul> <p>■Windows 10 Ver.21H2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 10のハイコントラストを設定すると、AdminMenuの文字が見えなくなります</li> </ul> <p>■Windows 11</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アクセシビリティ→コントラストテーマを「夜間」に設定すると、AdminMenuの文字が見えなくなります</li> </ul> <p>※Windows Server 2022はAdmin Menuの対応となります</p>	
QQR	Ver.1.4	○	x	x	x	x	未定	<p>■Ver.21H1</p> <p>動作検証中</p> <p>■Windows 10 Ver.21H2 / Windows 11</p> <p>検証時期調整中</p> <p>■Windows Server 2022</p> <p>検証時期調整中</p>	
Quality Gaiho PDF Suite	Ver.5.5	△	△	△	△	△		<p>■Windows 10 Ver.1903/1909/2004/2009/20H2/21H1/Windows 11/Windows Server 2022</p> <p>[制限事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 10 1903以降、Windows 11、Windows Server 2022においてGaiho PDF Suiteインストール時、PDFビューアをGaiho Docxに変換しても、設定が変更されません</li> </ul> <p>■Windows 11</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コントラストテーマを適用した際、一部UIが正しく表示されません。</li> <li>Office 未インストール環境で、テキストファイルをPDFファイルへ変換できません。</li> </ul>	

製品名	実行バージョン	macOS (10.15)	macOS (11)	macOS (12)	対応予定バージョン	対応時期・備考
		対応状況	対応状況	対応状況		
QND Premium/Advance/Standard	Ver.11.0.7i	△	△	△	未定	<p><b>[制限事項]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TCP間欠接続機能が利用できません。</li> <li>・macOS 10.13.4より、Adobe製品情報収集プラグイン(AdobeInfo)、フォント情報収集プラグイン(BizPackFont)のインストールを実行した際にクライアントにて各々一度だけ警告ダイアログが表示されます。</li> <li>・本報告表示に関しては、Webページ(https://support.apple.com/ja-jp/hz208436)を参照してください。</li> <li>・以下のインストールプラグインを削除できません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・フォントインベントリ(BizPackFont)</li> <li>・コンソール(Console.app)は、UTF-16LEに対応していません。テキストエディタ(TextEdit.app)を利用してSystemPreferenceでText encodingを(UTF-16LE)に設定してQND.logを参照してください。</li> <li>・sandboxタイプのアプリケーションは、SUを利用して起動できません。sandboxタイプのアプリケーションの識別方法は、ActivityMonitor.appのメニューから「View」→「Columns」→「Sandbox」をOnにします。ActivityMonitor.appの画面の[Sandbox]の列に、sandboxタイプのアプリケーションは「Yes」、非sandboxタイプのアプリは「No」が表示されます。</li> <li>・ソフトウェア配布の設定として「タスク」-「配布」-「ファイル転送」で指定する「配布するソフトウェアのプロパティ」で「指定ファイルが転送先フォルダにある場合転送、なければ転送しない」を指定時、比較先ディレクトリ名を設定しても参照せず、転送先ディレクトリ名を参照して動作します。</li> <li>・ソフトウェア配布の設定として「タスク」-「配布」-「ファイル転送」で指定する「配布するソフトウェアのプロパティ」で「指定ファイルが転送先ディレクトリ名を設定して「コピー元がないファイルを削除」をオンで利用する場合、事前にmacOSの設定で、「システム環境設定」-「セキュリティとプライバシー」-「プライバシー」で「QND」に対するフルディスクアクセス権限のチェックを有効にする必要があります。</li> <li>・Apple M1 CPUでは、イベントリのCPUスピード、CPU外部クロックは、正確な値を収集できません。</li> <li>・任意イベントリを入力した場合、設定時間に達した入力が動作中もタイマログが閉じられます。</li> <li>・任意イベントリを入力した内容をmacOS12の機能で参照すると参照結果を表示する表示出しに何も表示されません。</li> <li>・macOS10.15以降では、クライアントでクライアントモジュール更新後の最初の起動時、「QND app」でこのコンピュータの画面を録画しようとしています。」の画面が表示されますので、許可設定してください。</li> <li>・macOS10.14以降では、クライアントでクライアントモジュール更新後の最初の起動時、「QND app」は、アクセシビリティ機能を使用してこのコンピュータを制御することを求めています。」の画面が表示されますので、許可設定してください。</li> <li>・Mac版Adobe製品情報収集プラグイン(AdobeInfo)実行時、クライアントでmacOS10.14以降は、本プラグインの初回とAdobe製品ライセンスの期限、更新後のインストール時期をクライアントで「AdobeInfo」は、非チェーンに含まれる「Adobe Licensing Information」ダイアログが「アクセスしようとしています。」のダイアログが表示されます。本メッセージが表示された場合、パスワードにログインユーザーのPCログインパスワードを入力して、「常に許可」ボタンをクリックしてください。なお、本メッセージは、ログインユーザー毎に表示されます。</li> <li>また、本メッセージは、PC再起動時に表示される場合があります。本メッセージに応答しない場合、タスクが終了しない状態となります。</li> </ul> </li> </ul>
QND ClientLog	Ver.2.6.11.2i	○	x	x	未定	<p><b>[制限事項]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・画像収録設定(*)でQND ClientLogクライアントを許可する必要があります。</li> <li>(*)画像収録で許可する手順 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 端末上で任意の操作ログアラートを発生させる</li> <li>2.OS標準の「システム環境設定」アプリの「セキュリティとプライバシー」-「画像収録」からQND ClientLogクライアントを許可する</li> </ol> </li> <li>・macOS 11 / 12では一部のログが正しく取得できない、ログイン時にエラーが記録される等、正常に動作しません。</li> </ul>
ISM CloudOne	Ver.7.0i	○	○	○	-	<p><b>[制限事項]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ISMクライアントのインストール時に、ファイルへのアクセスを許可する必要があります。</li> <li>・Ver.6.6.1以前のISMクライアントをインストールした状態でmacOS 10.14からmacOS 10.15にアップデートすると、ISMクライアントが動作しません。</li> <li>・ISMクライアントの通知を許可しない場合、アラート通知やメッセージ通知が表示されません。</li> <li>・画像収録設定(*)でISMクライアントを許可していない場合、操作ログアラート発生時のスクリーンショットが履歴とメニューバーのみの表示になります。また、デスクトップに表示しているアプリケーションの情報は表示されません。</li> <li>(*)画像収録で許可する手順 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 端末上で任意の操作ログアラートを発生させる</li> <li>2.OS標準の「システム環境設定」アプリの「セキュリティとプライバシー」-「画像収録」からISMクライアントを許可する</li> </ol> </li> <li>・macOS 10.14にISMクライアント(64bit版)をインストールした状態でmacOS 10.15へバージョンアップすると、外部デバイス制御や操作ログ取得が正常動作しない場合があります。</li> <li>・macOS 10.15にISMクライアントを新規インストールした場合は発生しません。</li> <li>・macOS 10.15以前にVer.6.8.10以上のクライアントはインストールできません。Ver.6.8.9をご利用ください。</li> </ul> <p><b>[注意事項]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ISMクライアントがインストールされている端末をmacOS Montereyにアップグレードした場合、OSの通知アイコンに斜線付きのマークオーバーレイ表示される場合があります。本表示は端末を再起動することで解消します。なお、本表示がされてもISMクライアントの動作には支障はございません。</li> </ul>
KeyServer	Ver.7.6	○	△	x	未定	<p><b>[制限事項]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・KeyServer Ver.7.6 更新プログラム(202001)適用により対応します。</li> <li>・KeyServer Ver.7.6 更新プログラム(202001)未適用の場合、macOS搭載のGatekeeperが、Apple社サーバ(ハクアクセスできる場合のみ)証明済みとして動作します。</li> <li>・macOS11では、以下の制限があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・OSバージョンが、10.16と表示されます。</li> <li>・Apple M1 CPUの場合でもCPUタイプにIntelのCPUが表示されます。</li> </ul> </li> </ul>

製品名	実行バージョン	iOS 14			対応時期・備考
		対応状況	対応予定バージョン		
ISM CloudOne	Ver.7.0i	△	未定		<p><b>[注意事項]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インバース版アプリはiOS11.0以降に非対応</li> </ul> <p><b>[制限事項]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・監視モード(*)に切り替えない場合、ポリシー構成プロファイルで制御ができない場合があります。</li> <li>(*)「Apple Configurator 2」でiOS端末を「監視モード」に切り替えることで端末制御が可能です。ただし、iOS端末単位で設定が必要です。なお、iOS12からバージョンアップした場合、割り当てられているプロファイルが変更されるまでは非監視モードでも制御が可能です。変更される端末の制御ができなくなります。</li> <li>・「設定アプリ」&gt;「プライバシー」&gt;「位置情報」で、iOSクライアントプログラムの位置情報取得権限を「常に許可」及び「正確な位置情報」を有効にしなければ、位置情報を取得できません。</li> <li>・個人データ取得同意確認メッセージの内容が正常に表示されない場合があります。</li> <li>・ISMサーバで自己署名の証明書を使用している場合、MDM構成プロファイルをインストールできません。</li> </ul> <p>※下記の機能は動作可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・iOSクライアントの初期登録</li> <li>・イベントリ収集</li> <li>・位置情報取得</li> <li>・違反時ポリシーの崩壊</li> <li>・全配布ソフトウェアのアンインストール</li> <li>・パスコード初期化</li> <li>・リモートロック</li> <li>・リモートワイプ</li> <li>・ソフトウェア配布</li> <li>・禁止ソフトウェア設定</li> <li>・アプリケーションポータル</li> <li>・MDM構成プロファイル削除通知</li> </ul>

製品名	実行バージョン	iPadOS 14			対応時期・備考
		対応状況	対応予定バージョン		
ISM CloudOne	Ver.7.0i	△	未定		<p><b>[制限事項]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・監視モード(*)に切り替えない場合、ポリシー構成プロファイルで制御ができない場合があります。</li> <li>(*)「Apple Configurator 2」でiOS端末を「監視モード」に切り替えることで端末制御が可能です。ただし、iOS端末単位で設定が必要です。</li> <li>・「設定アプリ」&gt;「プライバシー」&gt;「位置情報」で、iOSクライアントプログラムの位置情報取得権限を「常に許可」及び「正確な位置情報」を有効にしなければ、位置情報を取得できません。</li> <li>・個人データ取得同意確認メッセージの内容が正常に表示されない場合があります。</li> <li>・ISMサーバで自己署名の証明書を使用している場合、MDM構成プロファイルをインストールできません。</li> </ul> <p>※下記の機能は動作可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・iOSクライアントの初期登録</li> <li>・イベントリ収集</li> <li>・位置情報取得</li> <li>・違反時ポリシーの崩壊</li> <li>・全配布ソフトウェアのアンインストール</li> <li>・パスコード初期化</li> <li>・リモートロック</li> <li>・リモートワイプ</li> <li>・ソフトウェア配布</li> <li>・禁止ソフトウェア設定</li> <li>・アプリケーションポータル</li> <li>・MDM構成プロファイル削除通知</li> </ul>